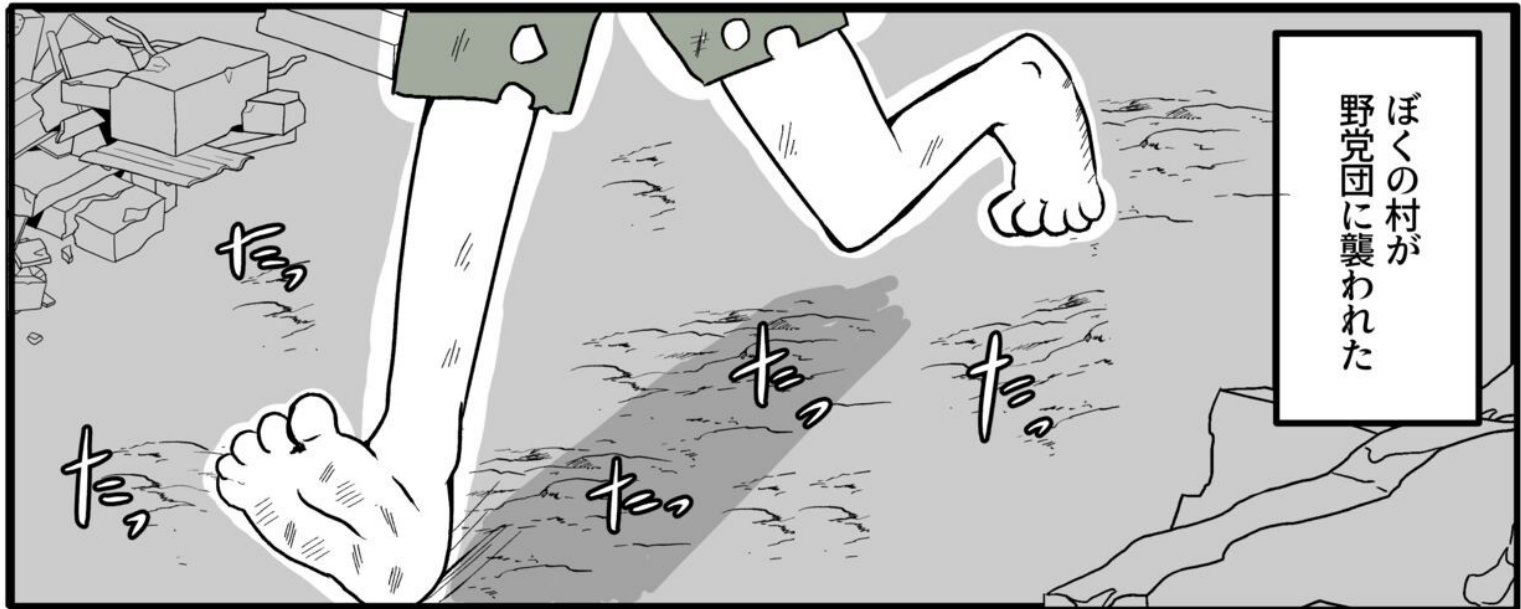


50ページ

ぼくを庇って犯されて。

単僕飼育。





ぼくの村が
野党団に襲われた



ママに逃げなさいと
言われたけれど

どこに逃げたら
良いの？

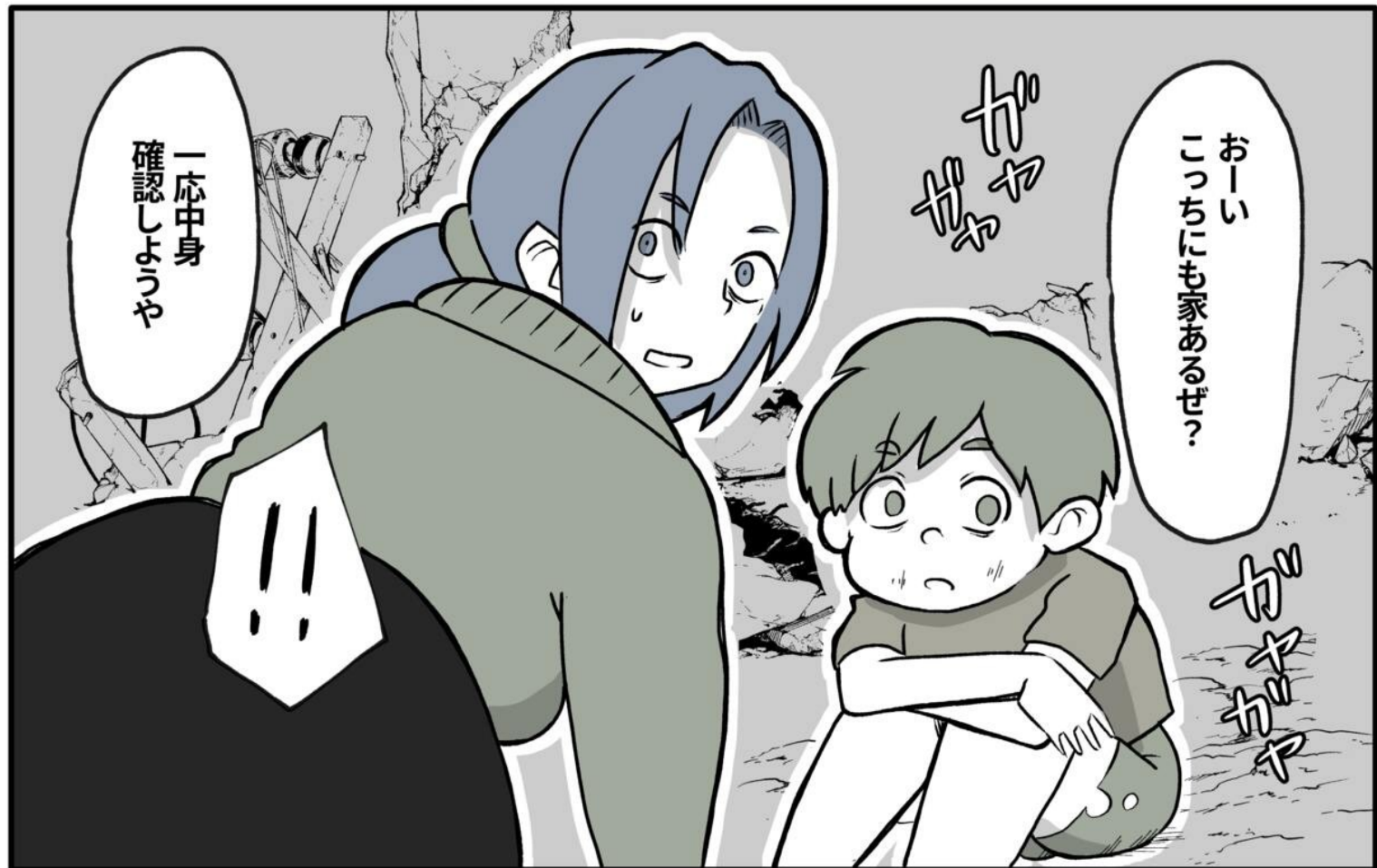


もう疲れちゃった
もう歩きたくない

何も考えたくない

ぼく?!

大丈夫?!



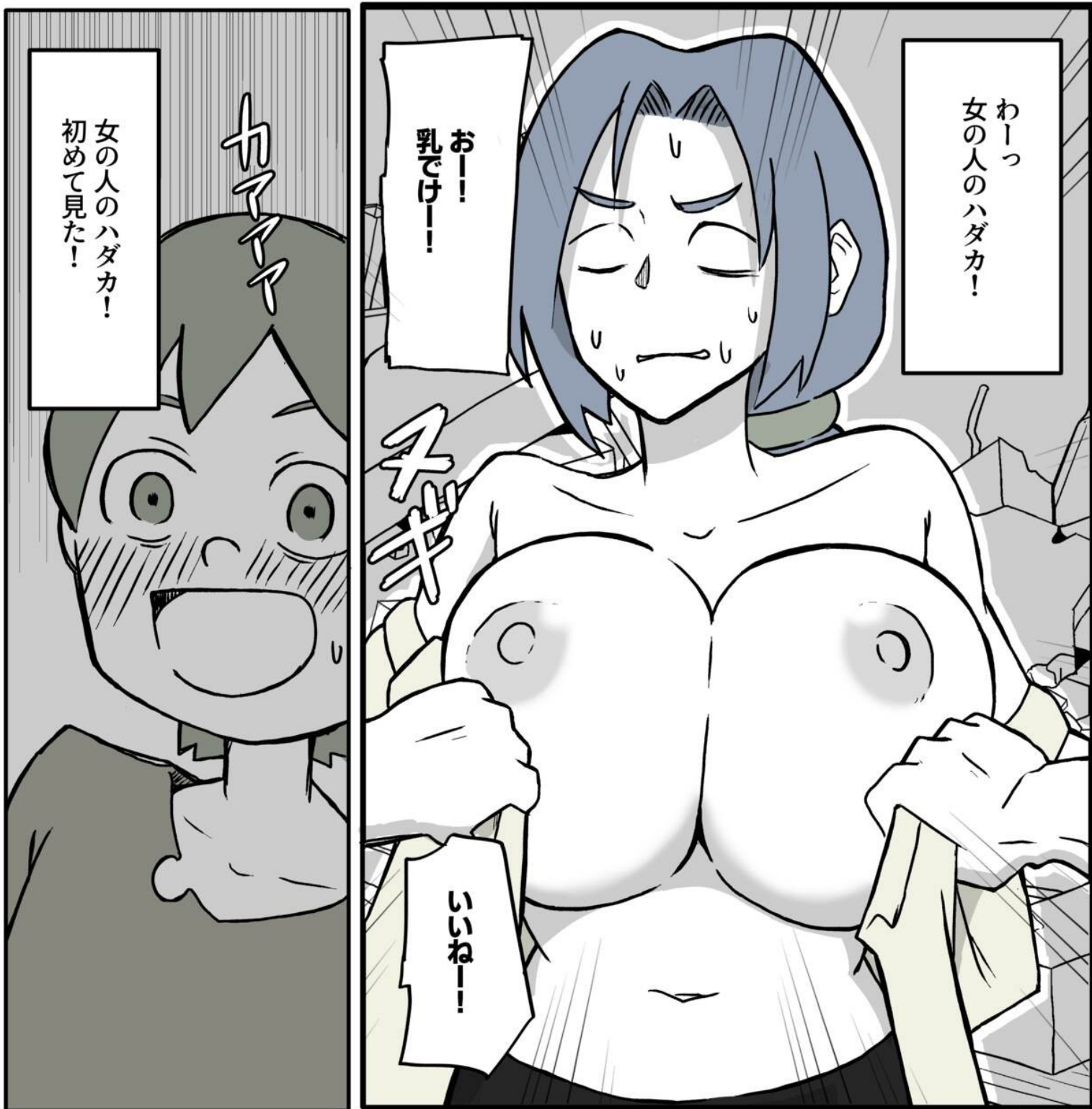




なに？
なにしてるの？

おばさんも
殺されちゃうの？

ガヤガヤ
ガヤガヤ



わーっ
女の人のハダカ！

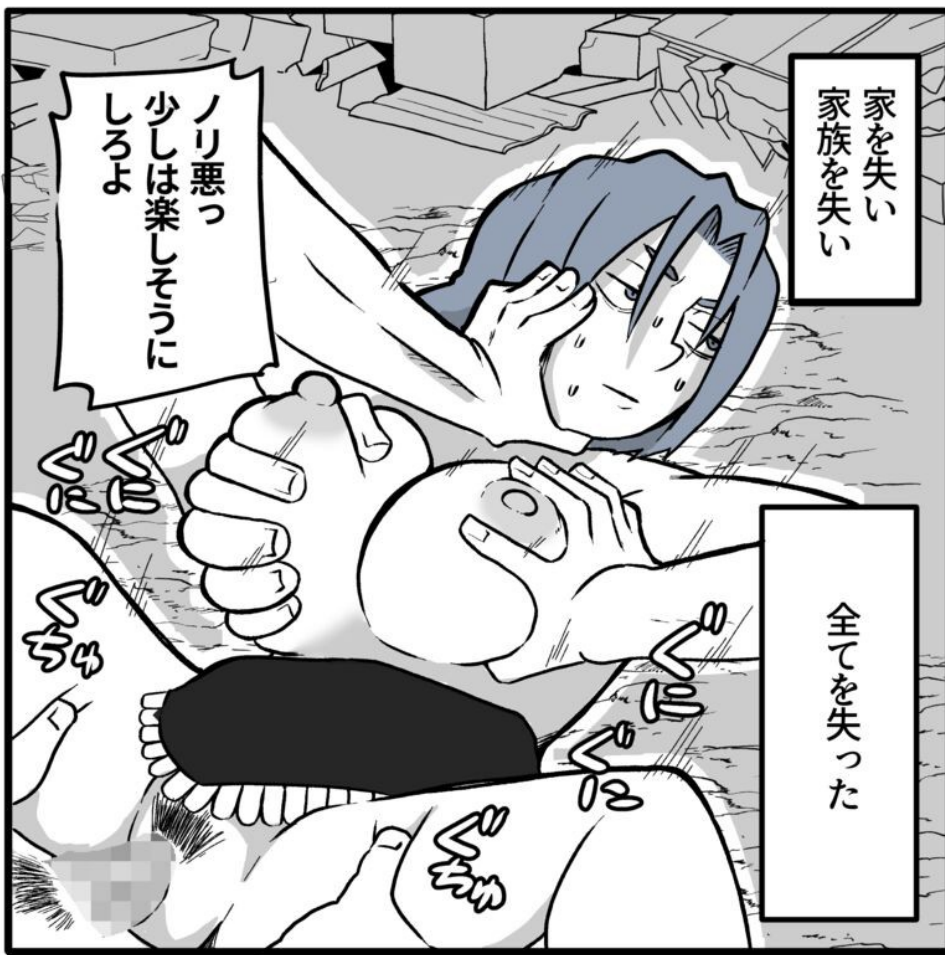
おー！
乳だけー！

ア
ア
ア

うさぎー！

女の人のハダカ！
初めて見た！

カアアア



ノリ悪っ
少しは楽しそうに
しろよ

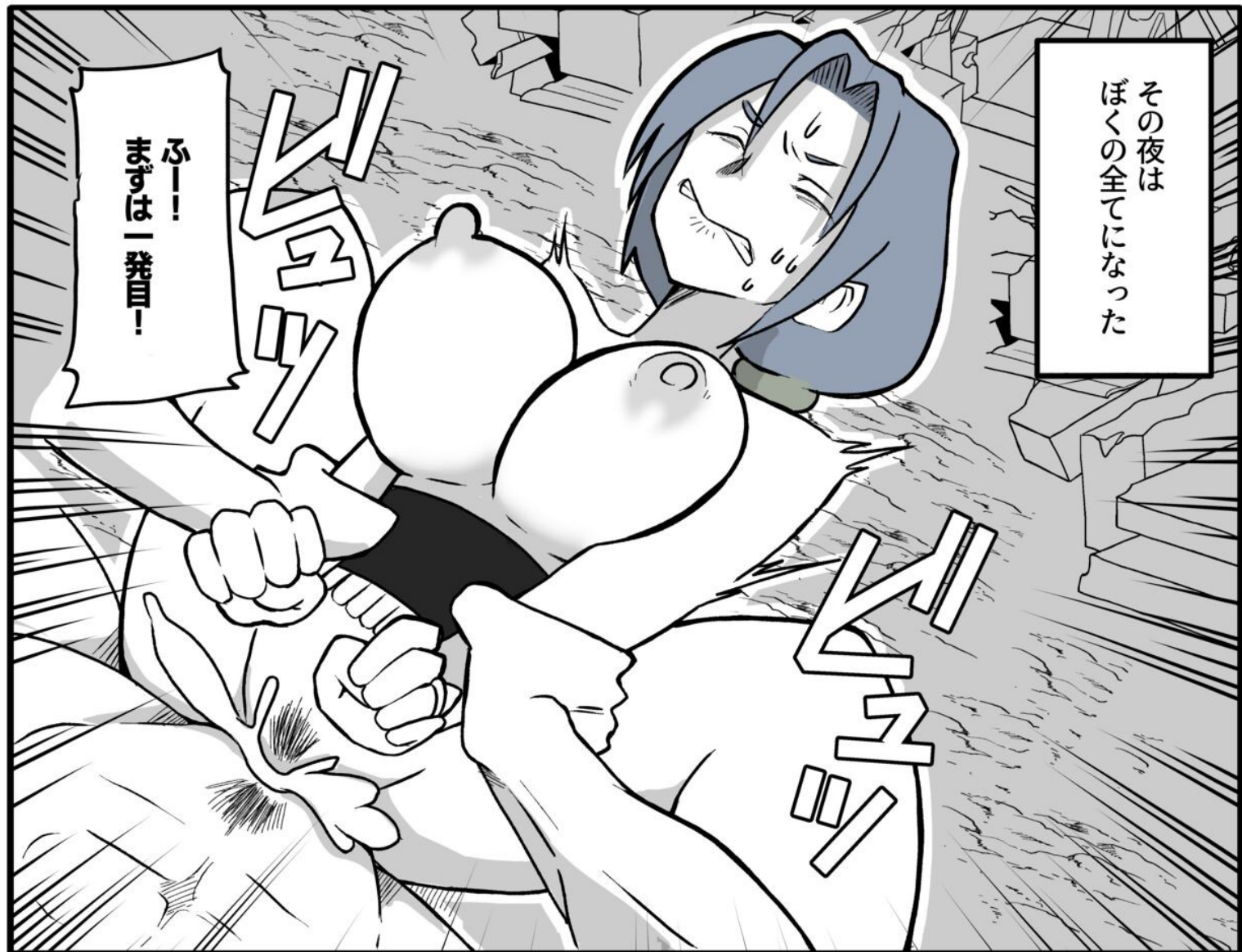
家を失い
家族を失い

全てを失った



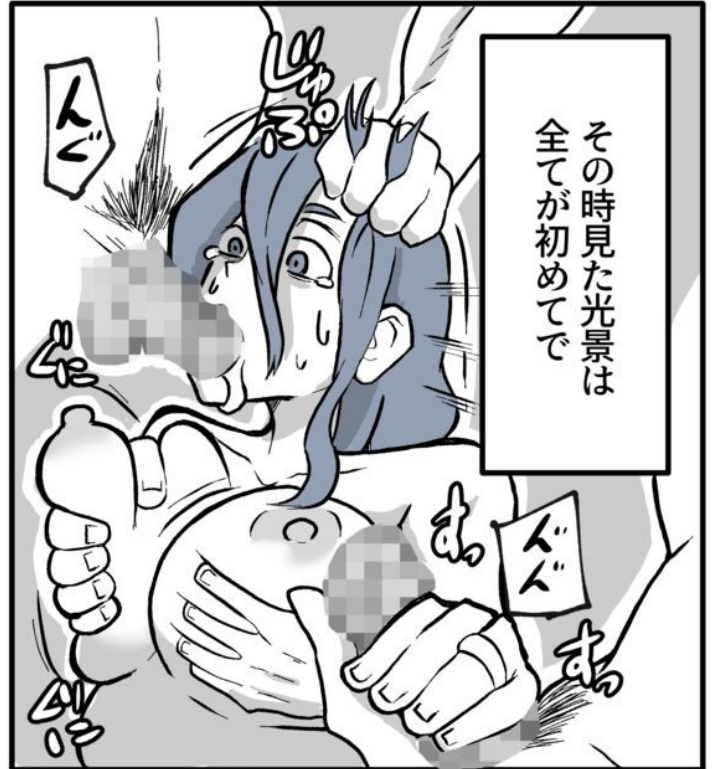
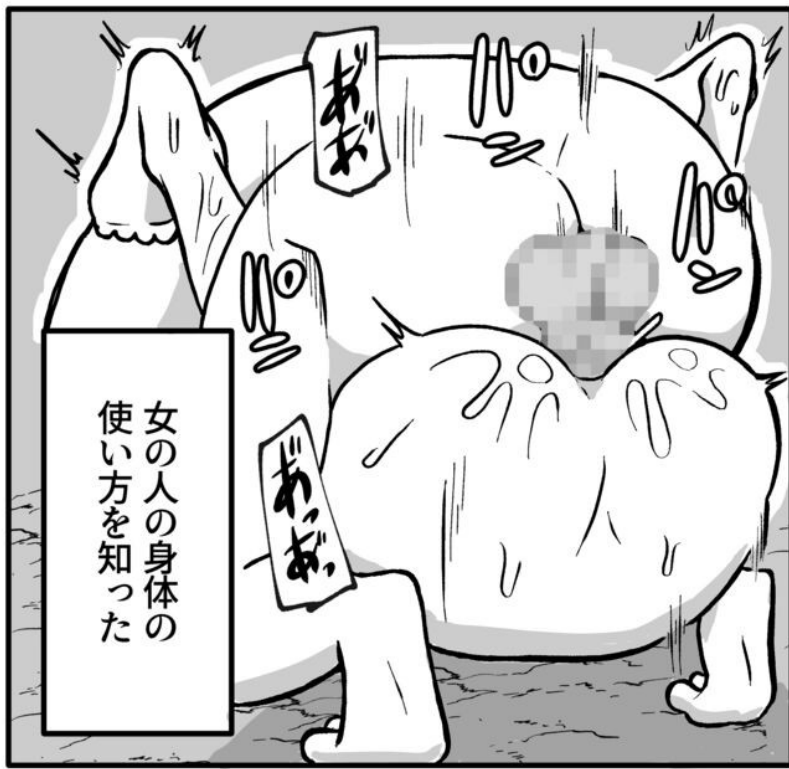
今日ぼくは
故郷を失った

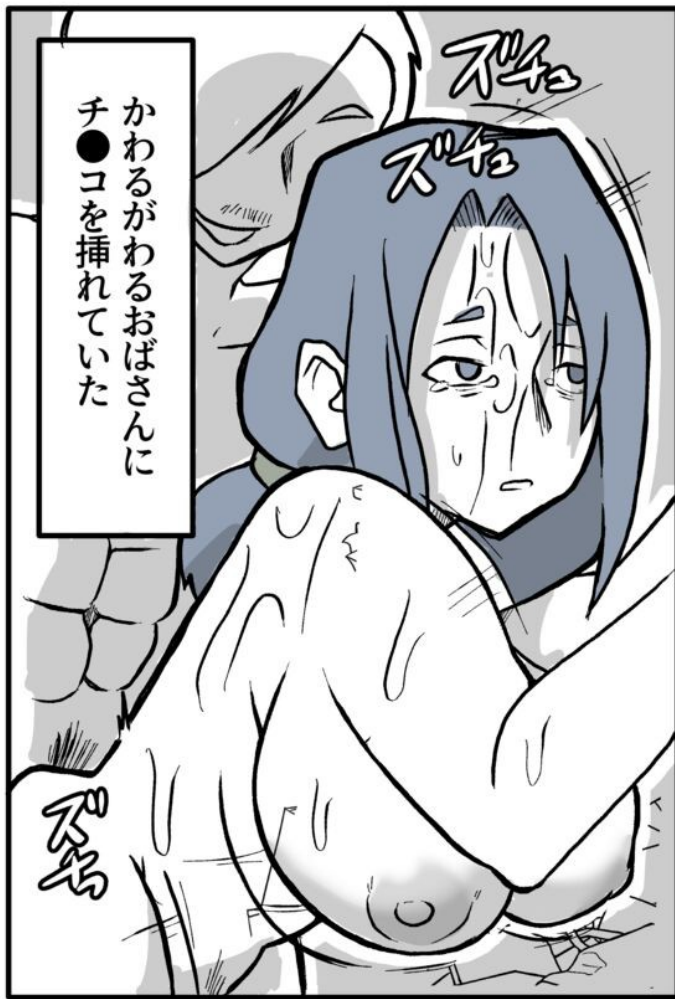
おらー！股開けや！



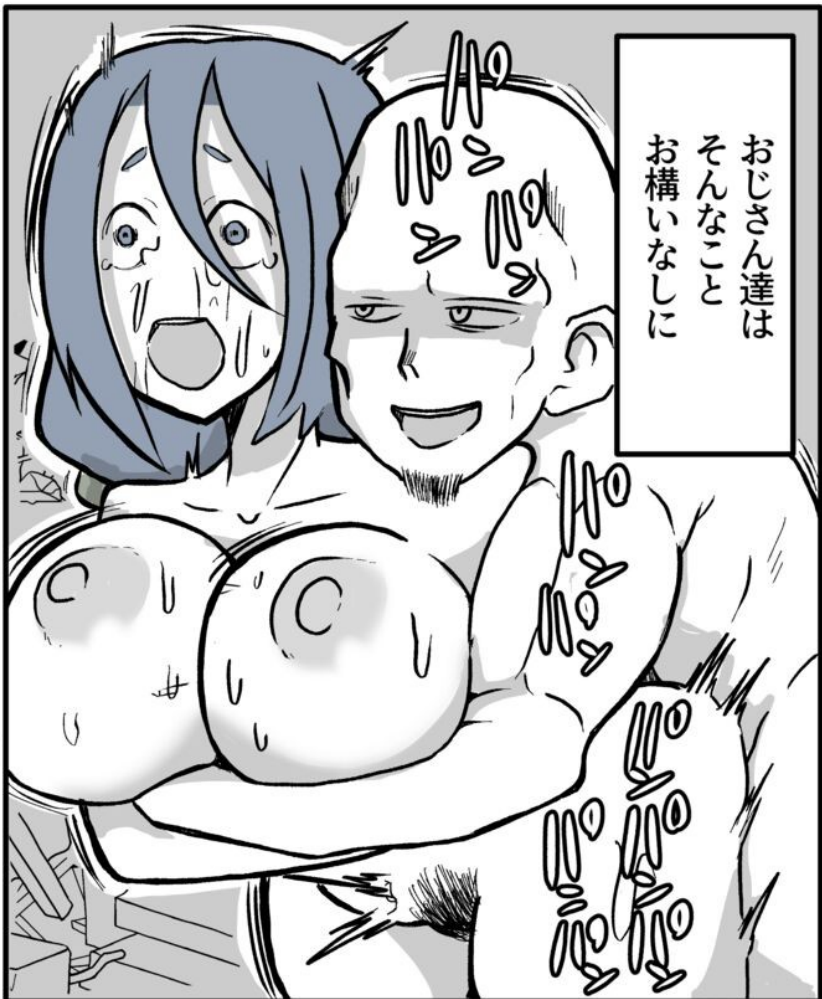
ふー！
まずは一発目！

その夜は
ぼくの全てになった





かわるがわるおばさんに
チ●コを挿れていた



おじさん達は
そんなこと
お構いなしに



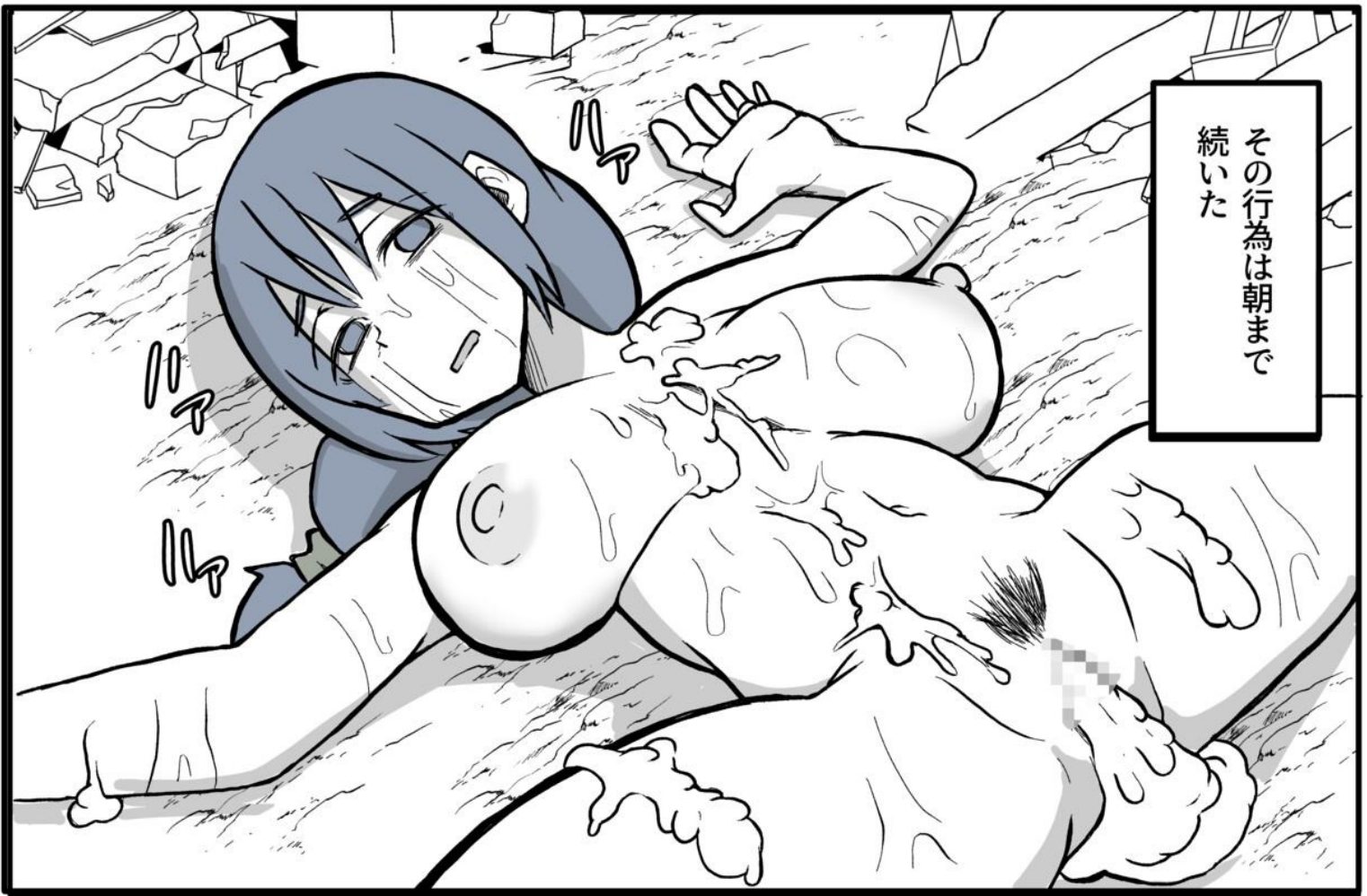
きっとこれは
特別な事だけど

普通の事なんだと
いう事がなんとなく
わかった



おばさんは自分が
何をされるか
知っていたかのように

抵抗する事なく
受け入れていた



その行為は朝まで
続いた



よかった
無事で

ムク
ムク

怖かったですよね？

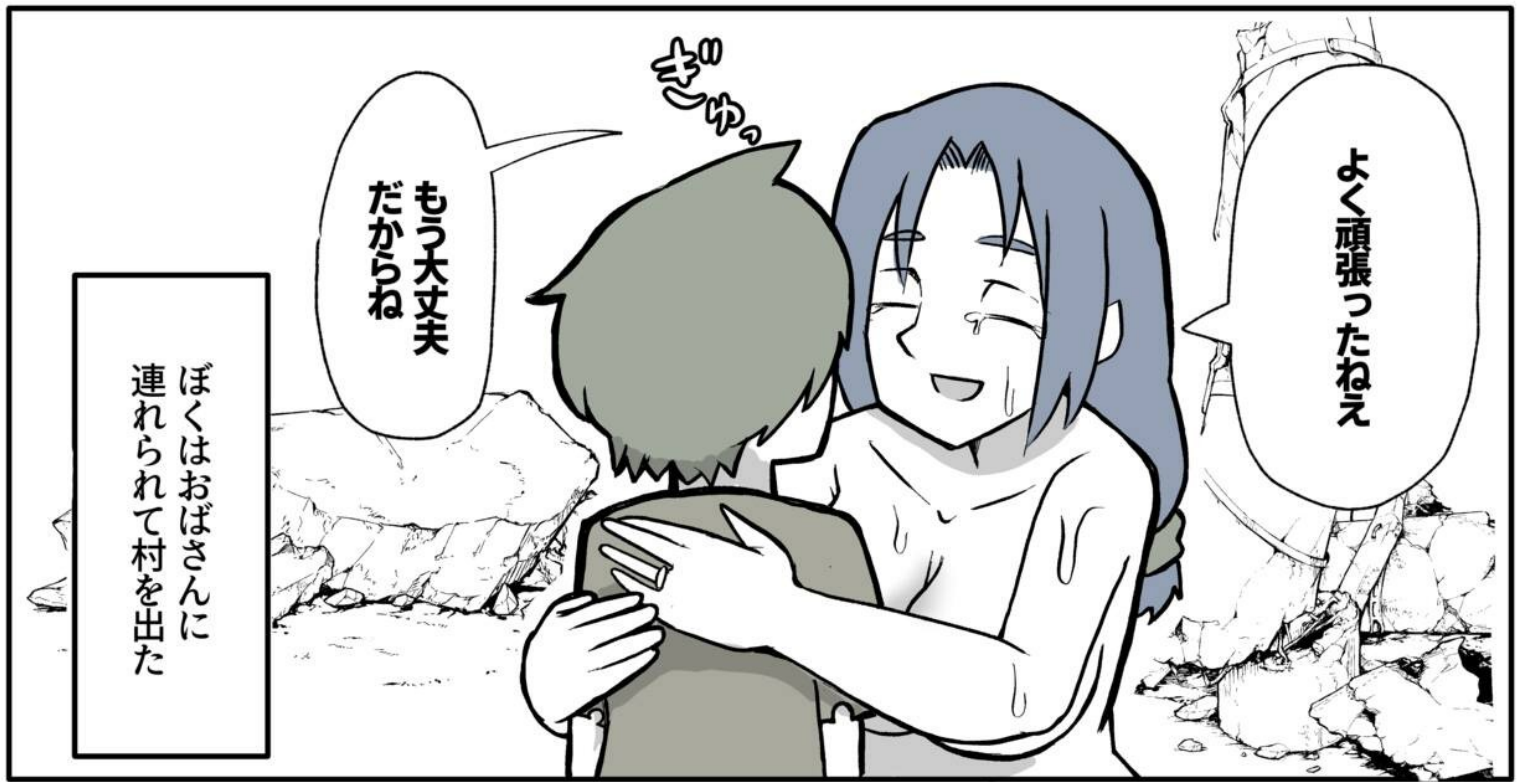


おじさん達は
おばさんに飽きると

おばさん

ガチャ

おばさんを
捨てていった



よく頑張ったねえ

もう大丈夫
だからね

ぎゅ

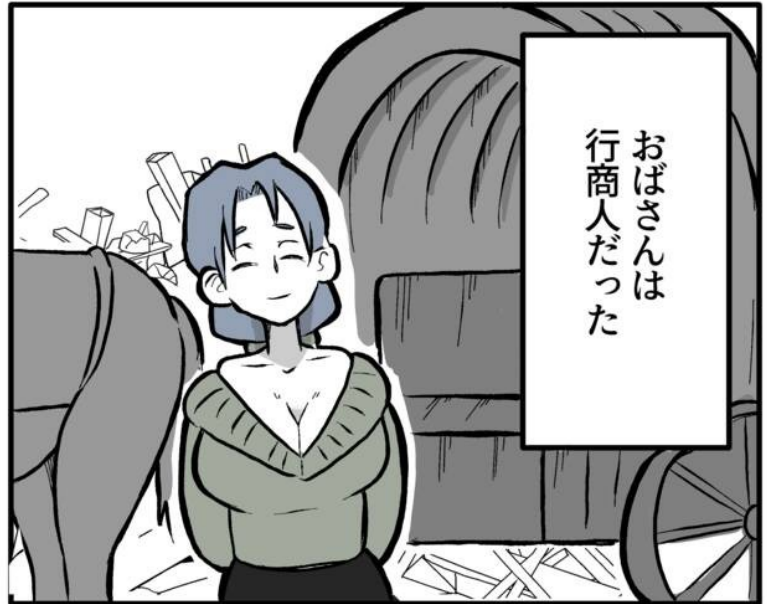
ぼくはおばさんに
連れられて村を出た



夫婦で仕事を
していたらしいけれど

が
が

旦那さんが足を悪くしてからは
1人で仕事をするのが
多いのだとか



おばさんは
行商人だった



ぼくの村にはたまたま
立ち寄った所を巻き込まれたらしい

が
が



馬車はおばさんの
家の前で止まり



ガ
ガ

ぼくを見捨てられなかったのは
それもあるのかもしれない

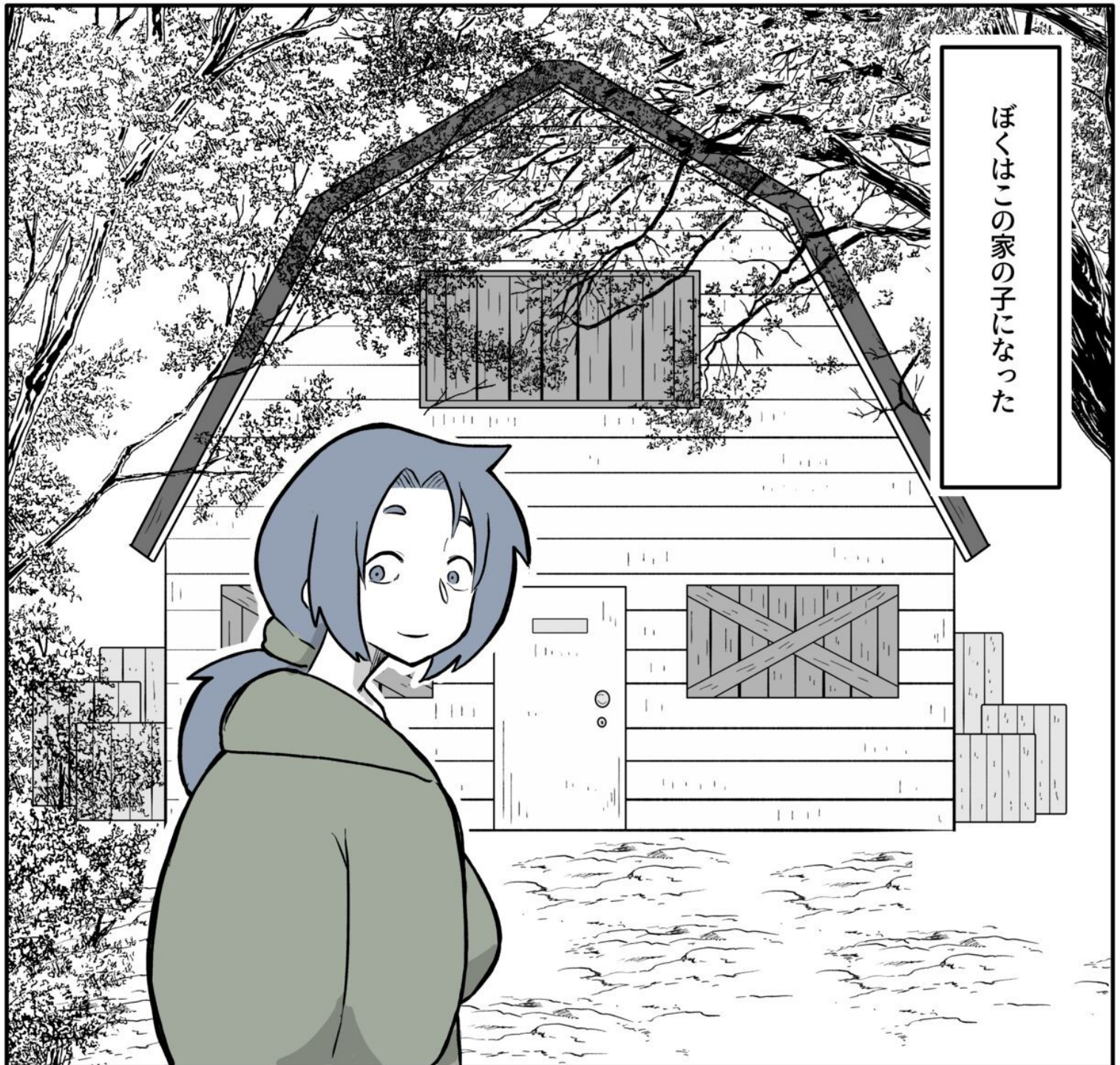
ガ
ガ



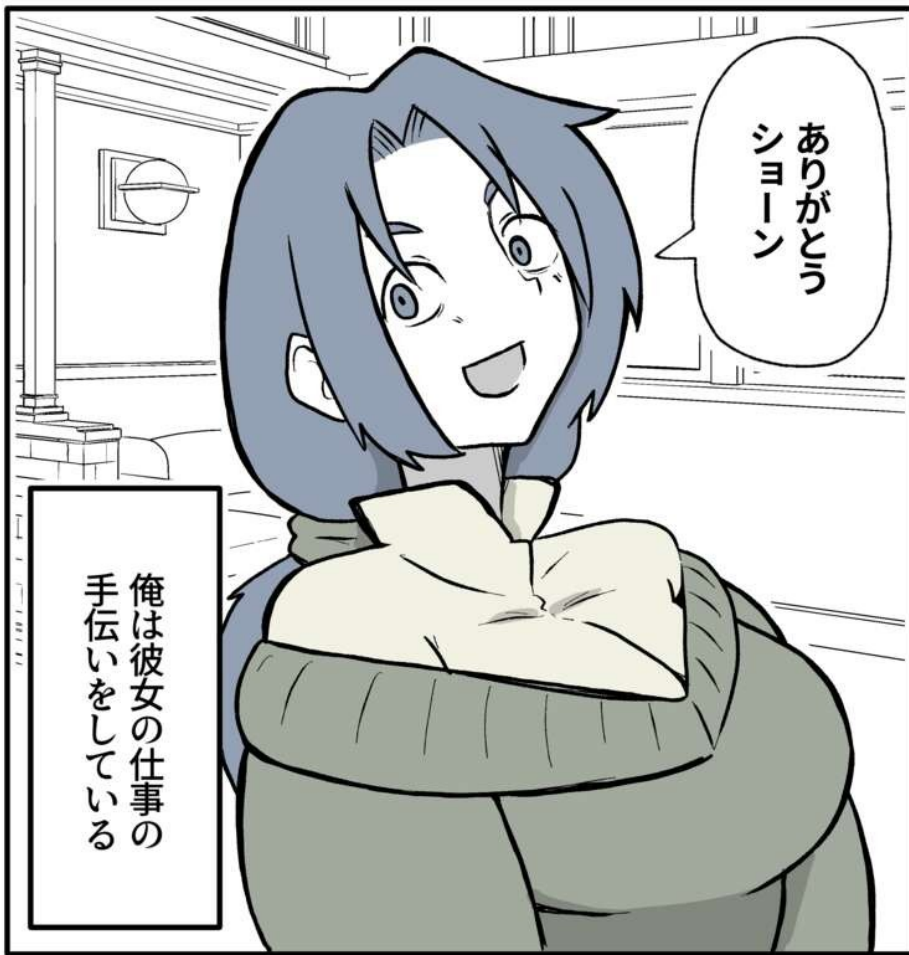
ガ
ガ

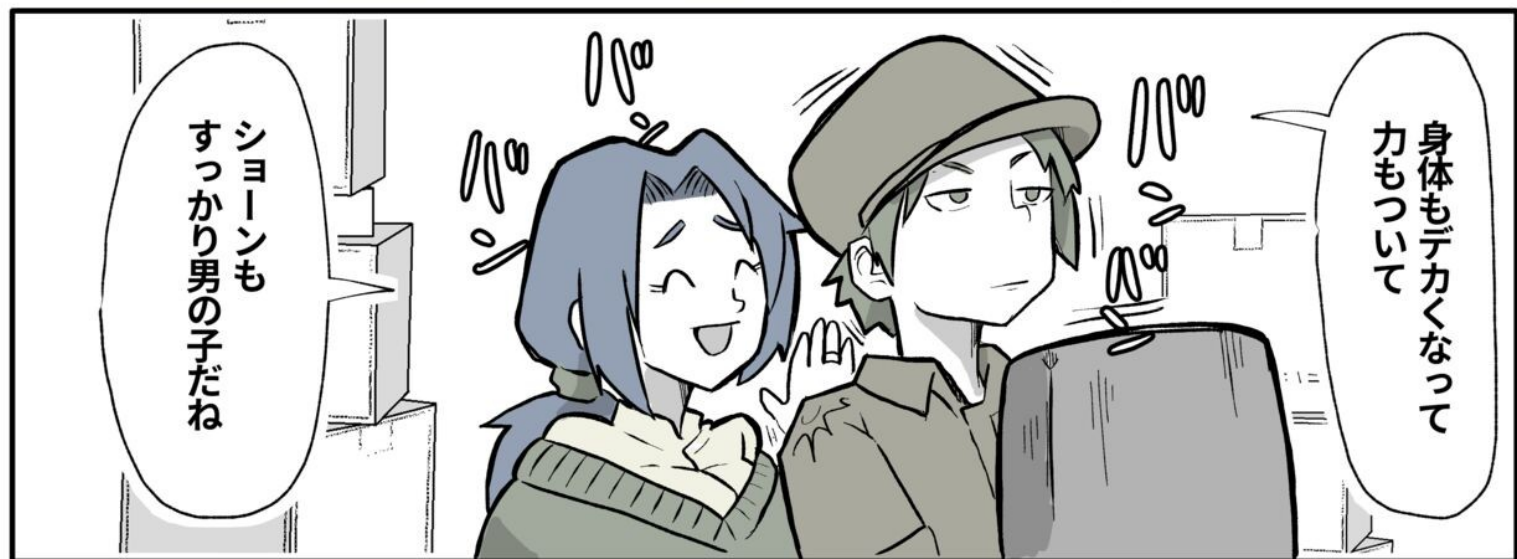
ガ
ガ

おばさんには
ぼくと同じくらい
子どもがいるらしい



ぼくはこの家の子になった







でも恩だけじゃない
気持ちもある

ドキ

ドキ

ドキ



俺はメイさんに
恩がある

さて私は小物の
荷造りでもしますか



メイさんには
夫もいるし
子どももいる

えーと

これと

フコと

あつと



この気持ちを伝えられない
理由はあまりにも多い

この気持ちを胸に
秘めようと思うたび

ドク

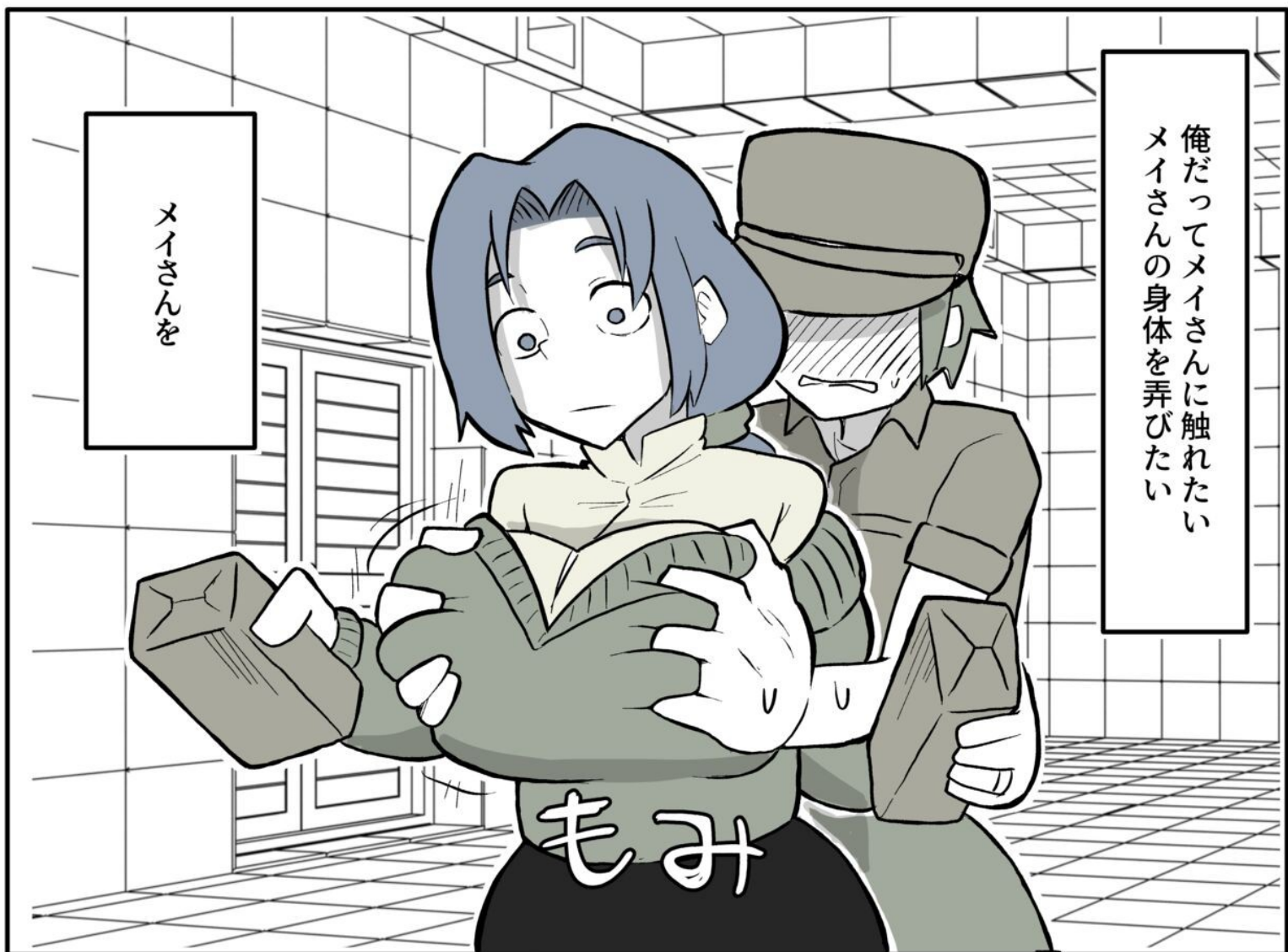
ドク

ドク



あの夜の光景が蘇る

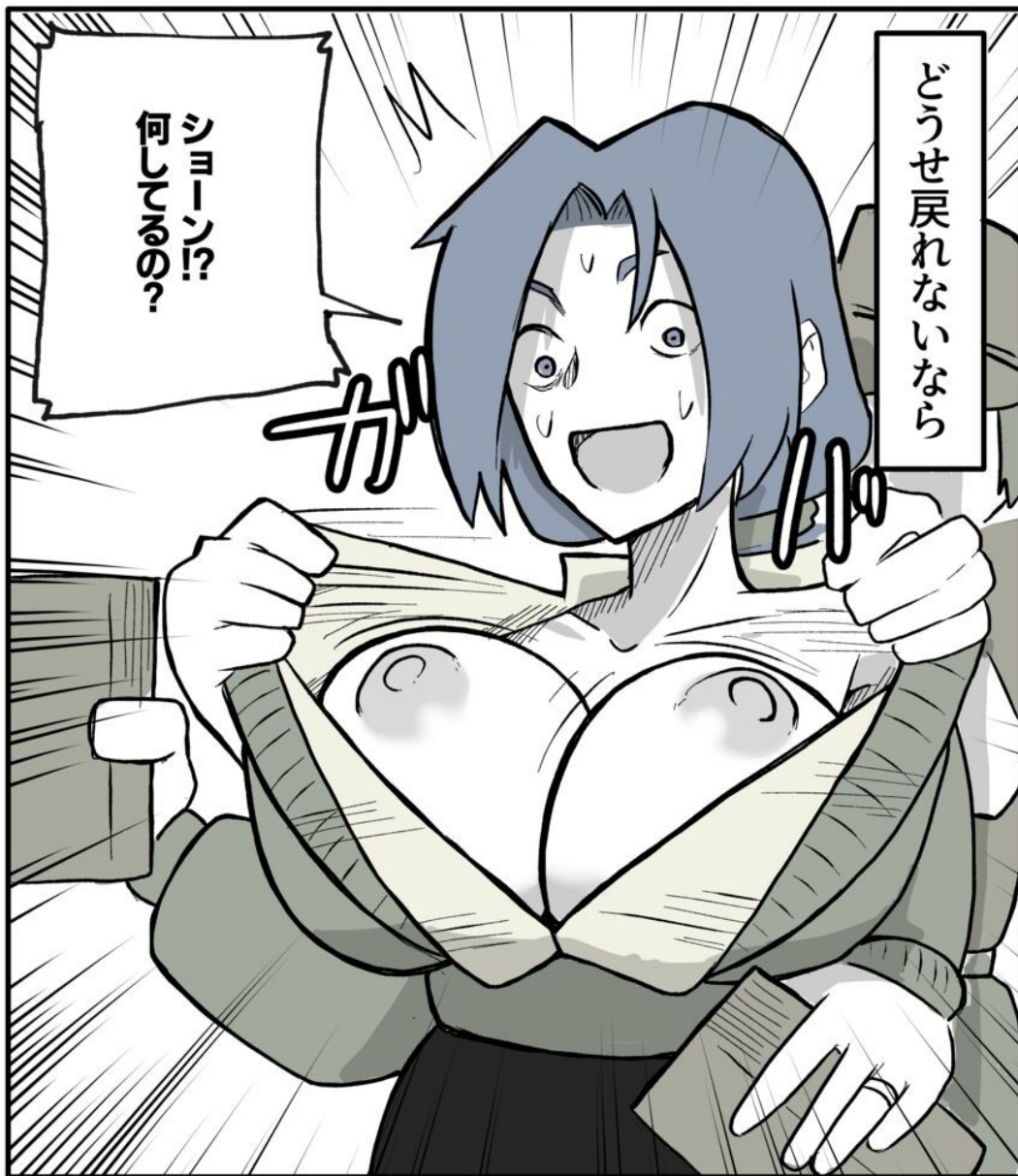
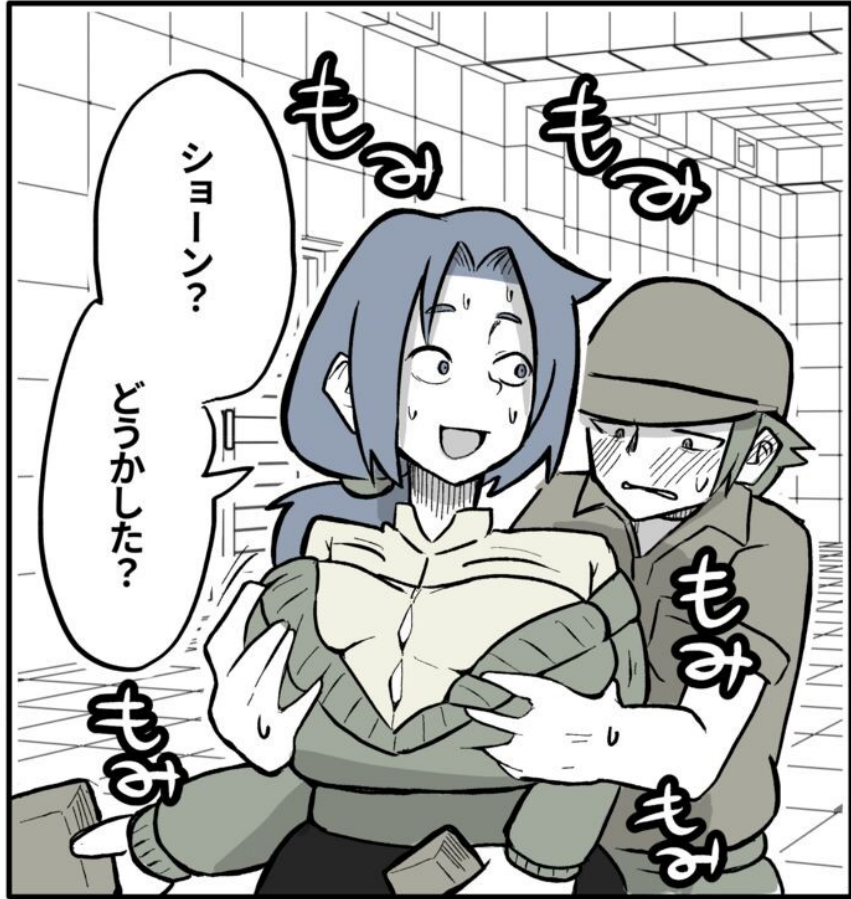
メイさんを
知れば知る程
あの光景が俺の
劣情を強く掻き立てる

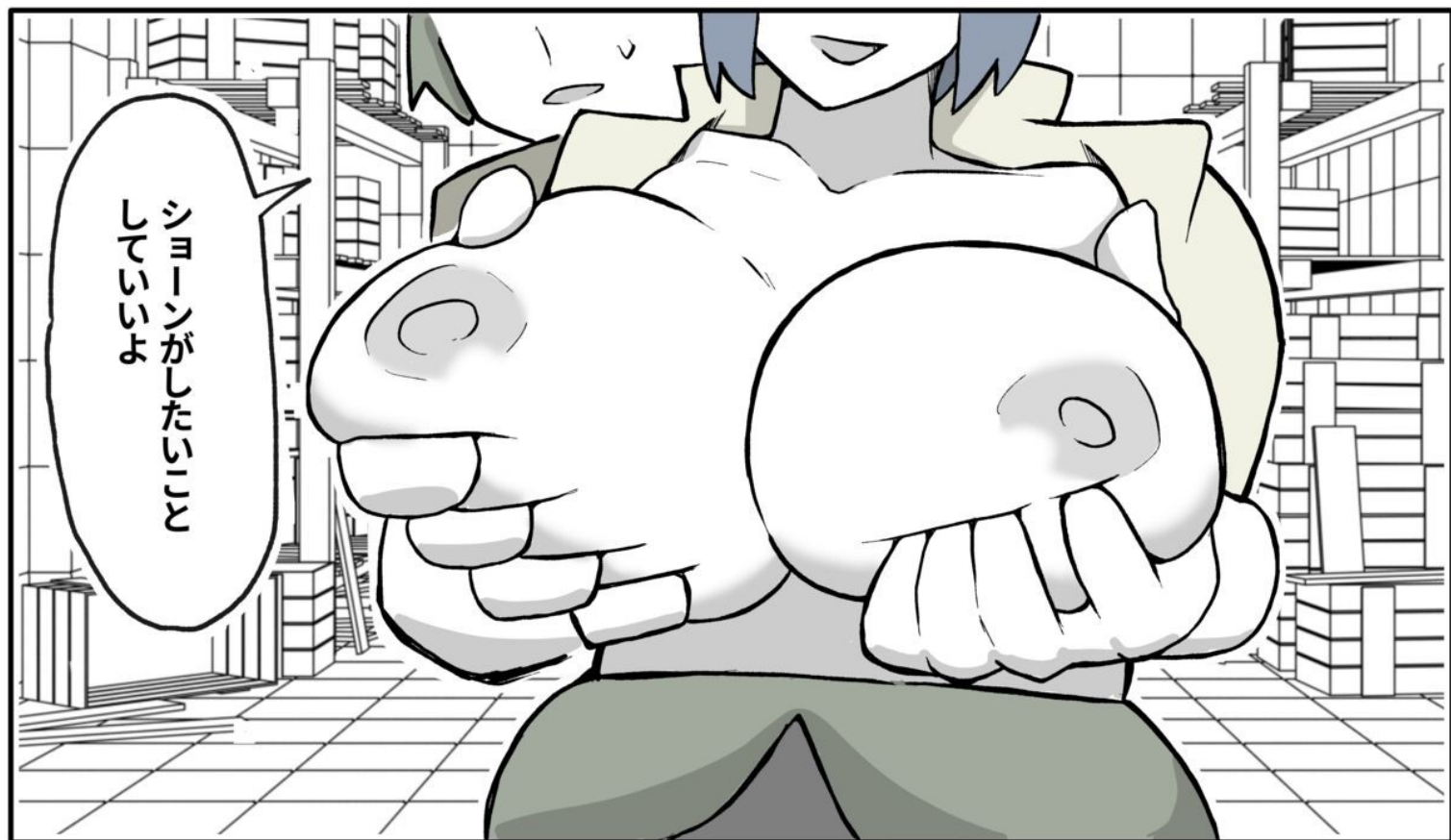


俺だってメイさんに触れたい
メイさんの身体を弄びたい

メイさんを

もみ







私全然怒って
なんかないよ？

よっよっ

びっくりしたよね？
でも大丈夫大丈夫



メイさん
ごめん
俺：

ぐす、

えっ？
シヨーン？!



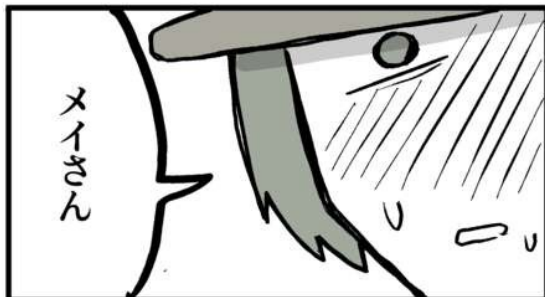
それに身体を触りたいって
思ってもらえるのは
女冥利に尽きるってもんよ？

私
まだ
まだ
...？



男の人が女の人と
そういう事がしたい
って思うのは
普通の事だから

ホント
全然...



メイさん



ずっと

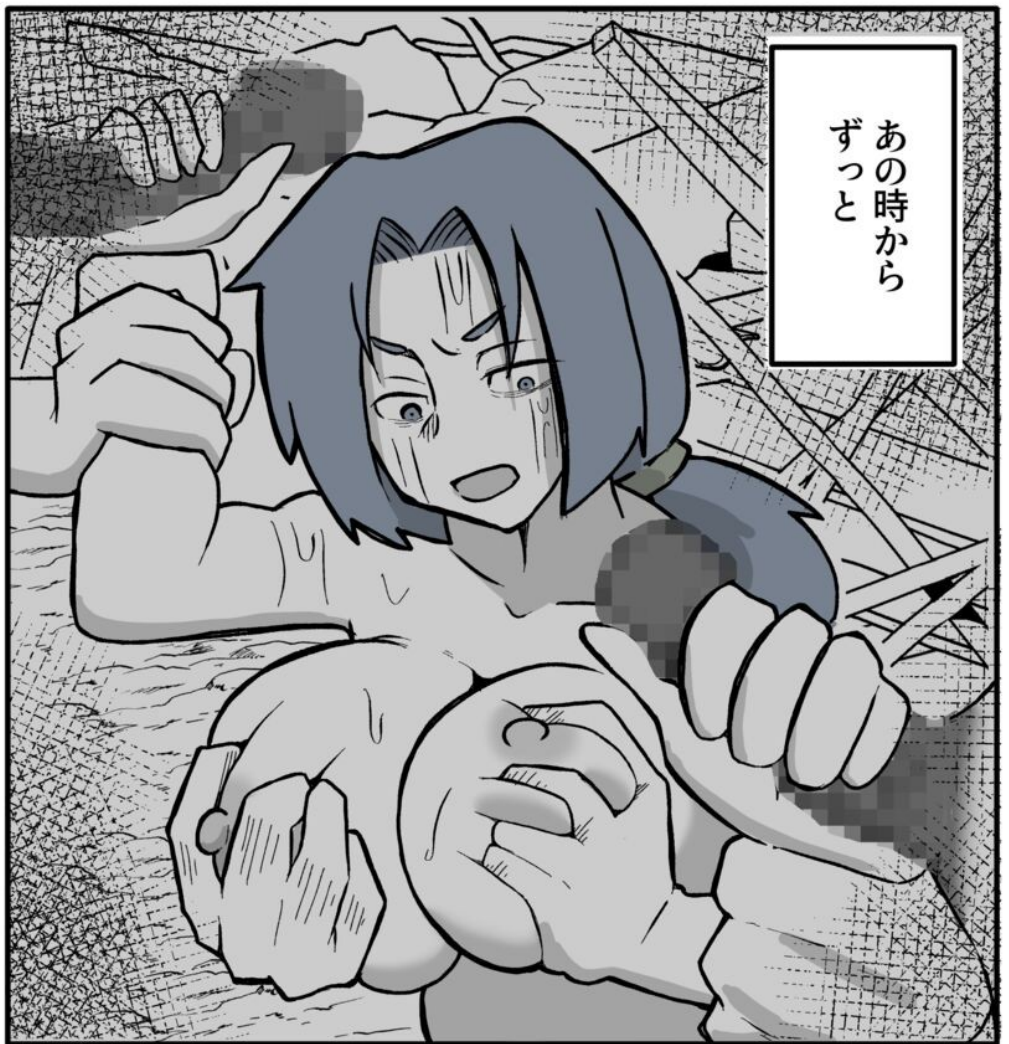


メイさんのおっぱい

ずっと触ってみたかった



ずっと



あの時から
ずっと

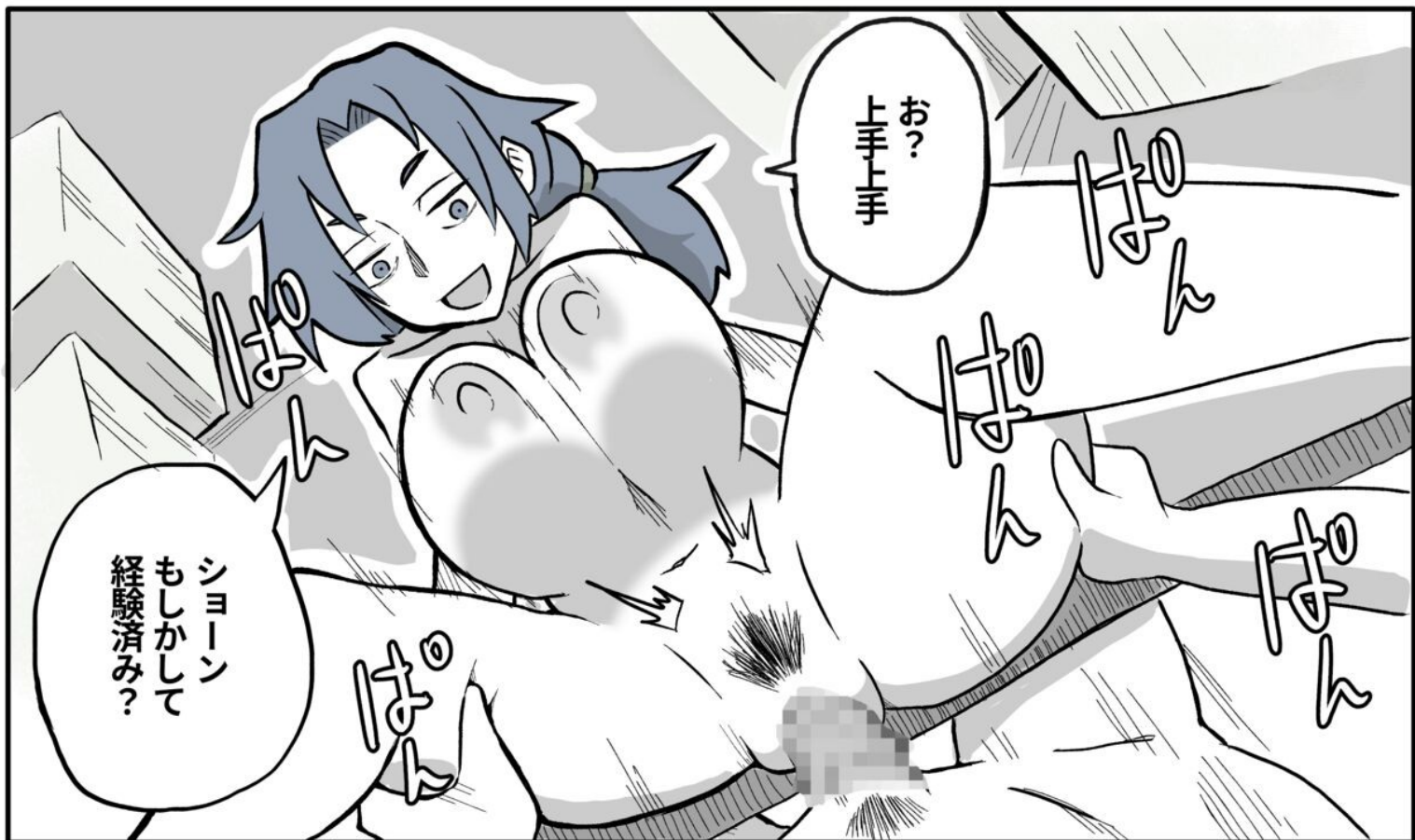


ヤダなー
なんか私の方が
緊張してきちゃった

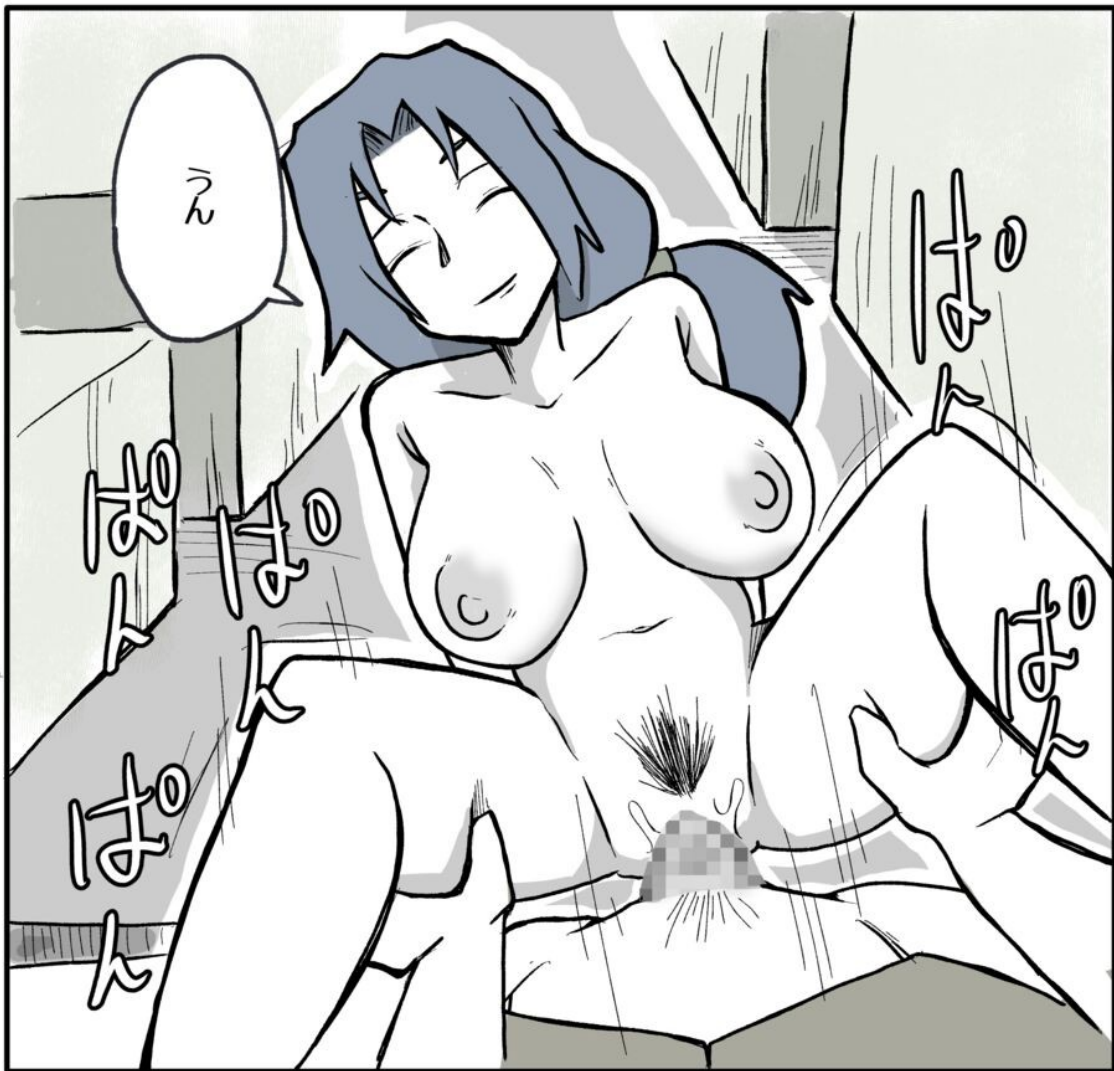
年甲斐もなく
恥ずかしいなーもー

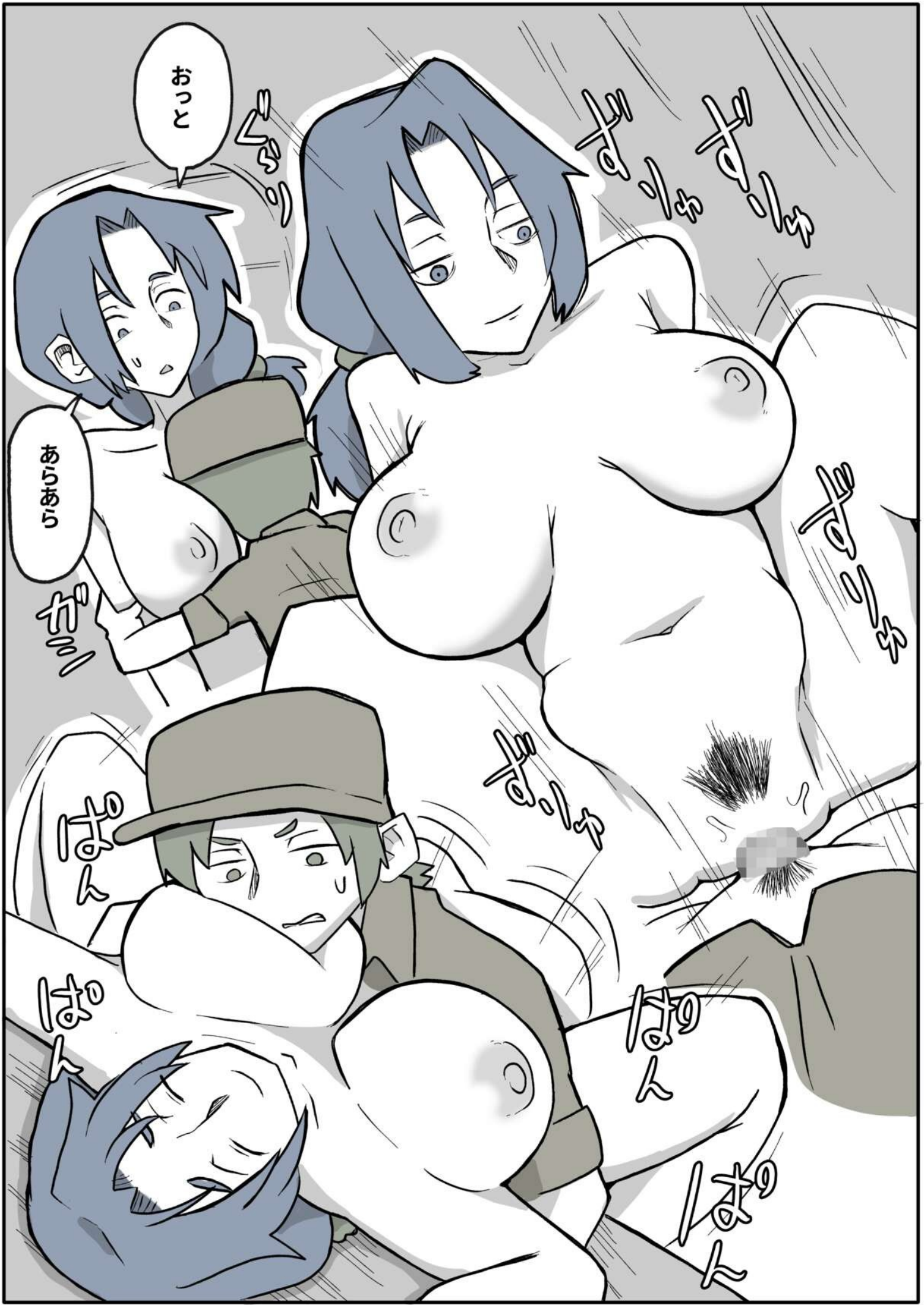












おっと

おっと

はっ

はっ

はっ

はっ

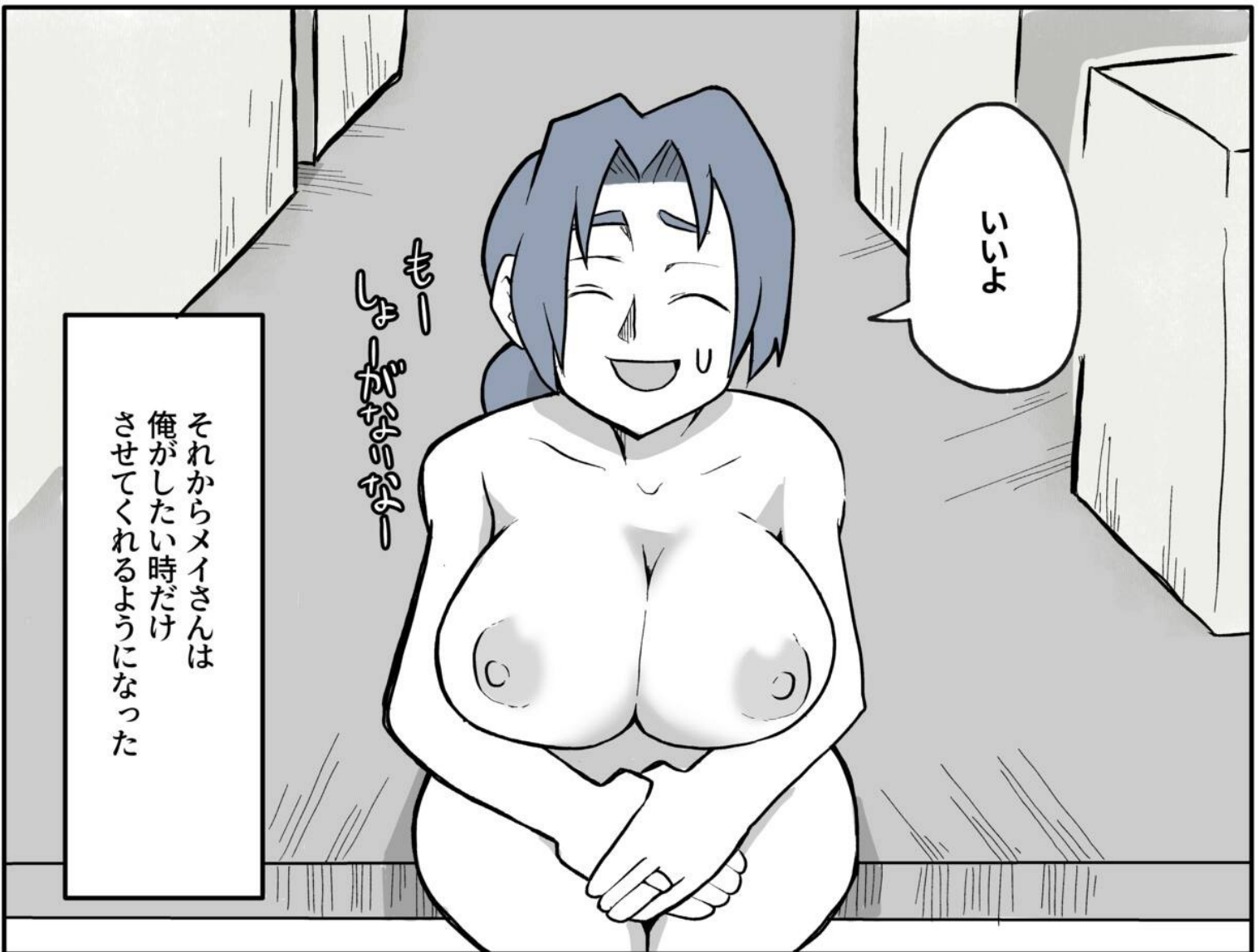
はっ

はっ

はっ

はっ







何度も



何度も

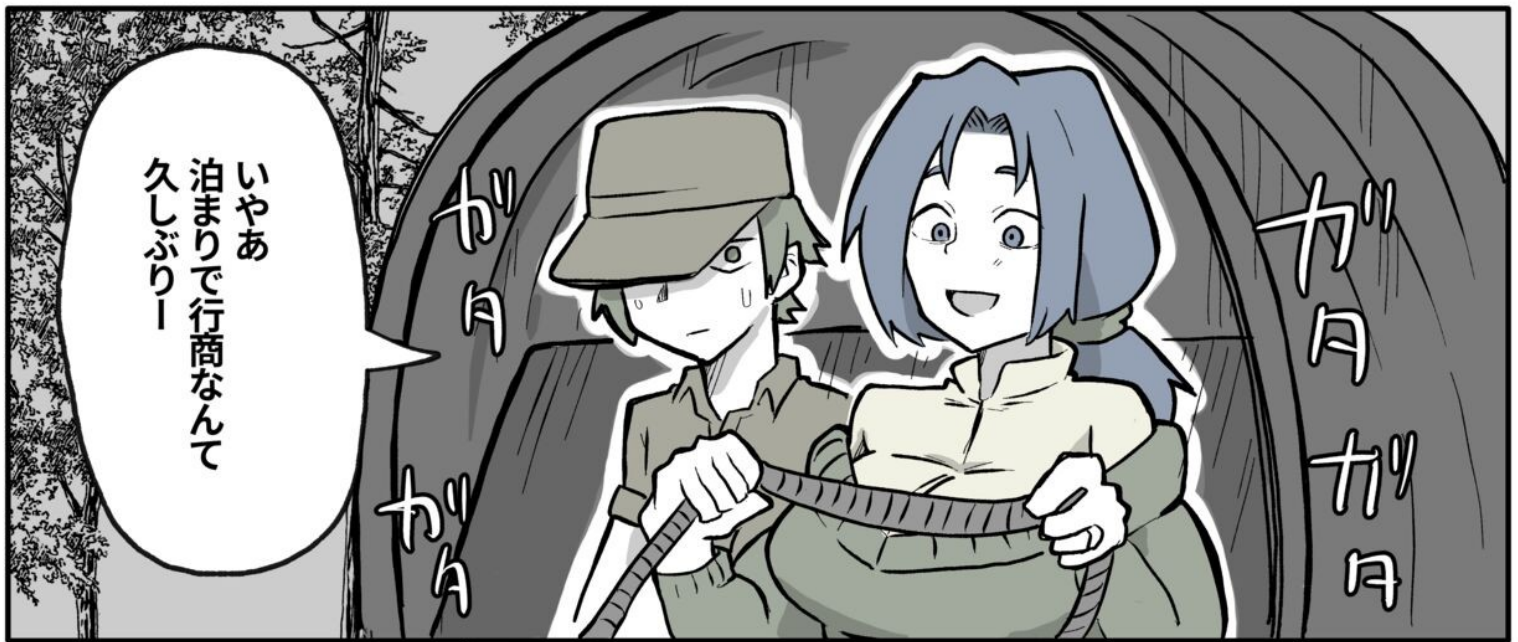


メイさんは俺を
受け入れてくれた



何度も





いやあ
泊まりで行商なんて
久しぶりー



ごめん

いいのいいの
たまにはこんな日が
あったって



えらい静かねえ
もつ宿の事
楽しみにしてるの？



ん？なにかしら？

こんな夜道に灯り？



大きい街にも
営業行きたかったし
丁度良かったの

ついでよ
ついで



最悪

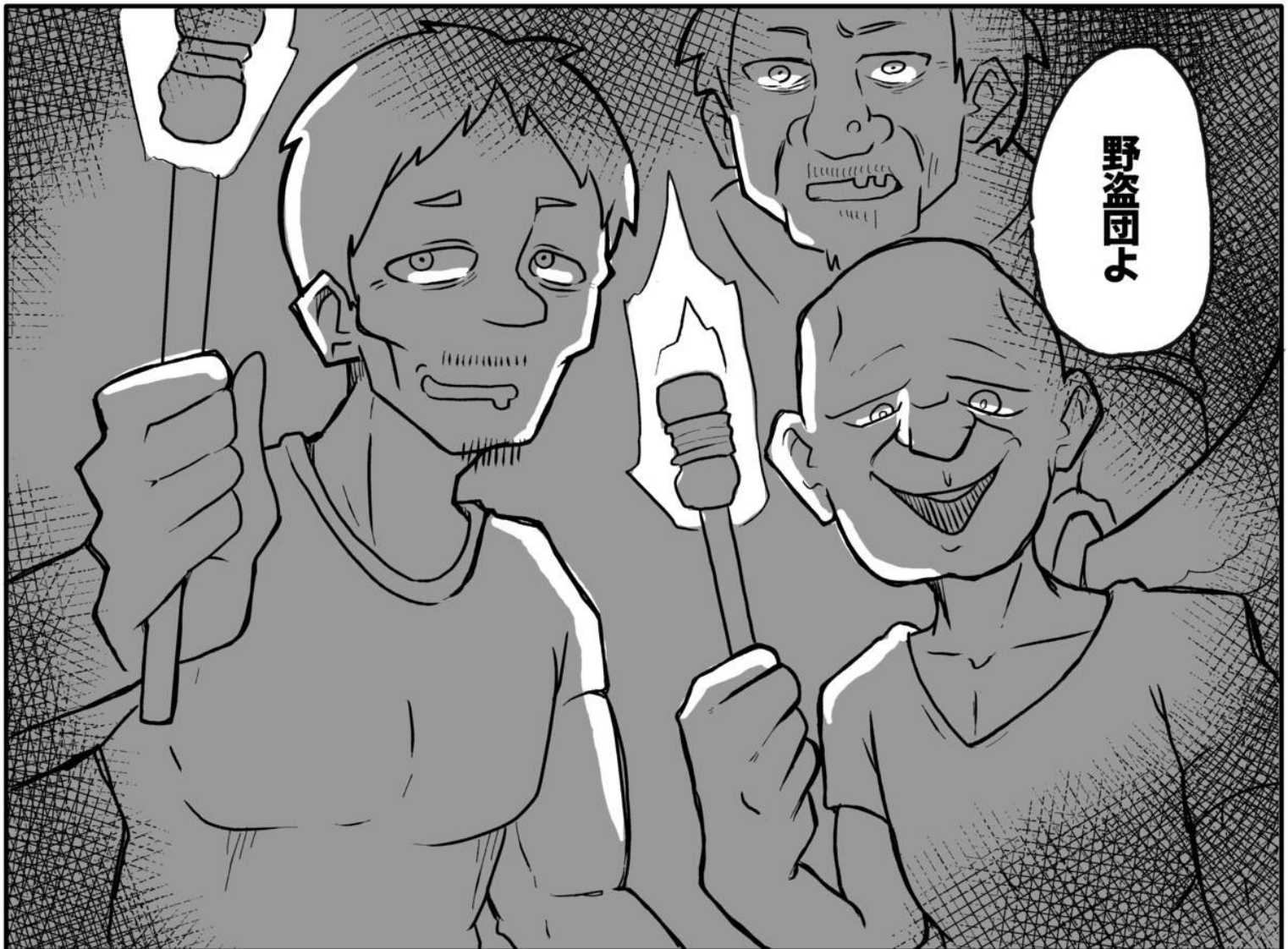


メイさん？



シヨーン
落ち着いて
聞きなさい

今すぐ馬車を降りて
反対側に走りなさい



こんなに重荷を背負っていたら
逃げられない

私はこのまま
通過するから

シヨーンは
1人で逃げなさい

メイさん

もう
そんな顔しないの

大丈夫
大丈夫

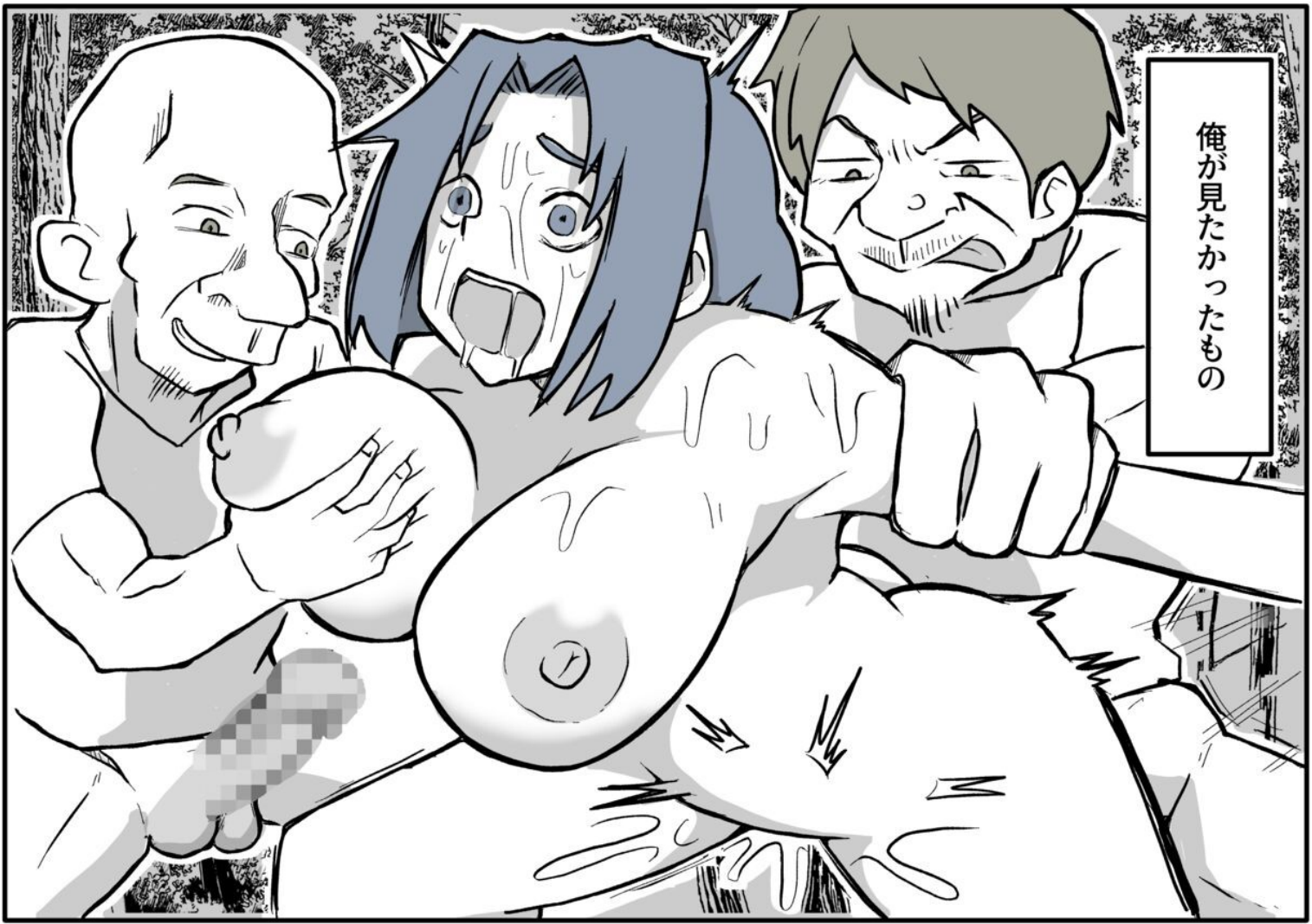
伊達に長い事
行商やってないのよ？

こういつ時の
切り抜け方は
知ってるわ

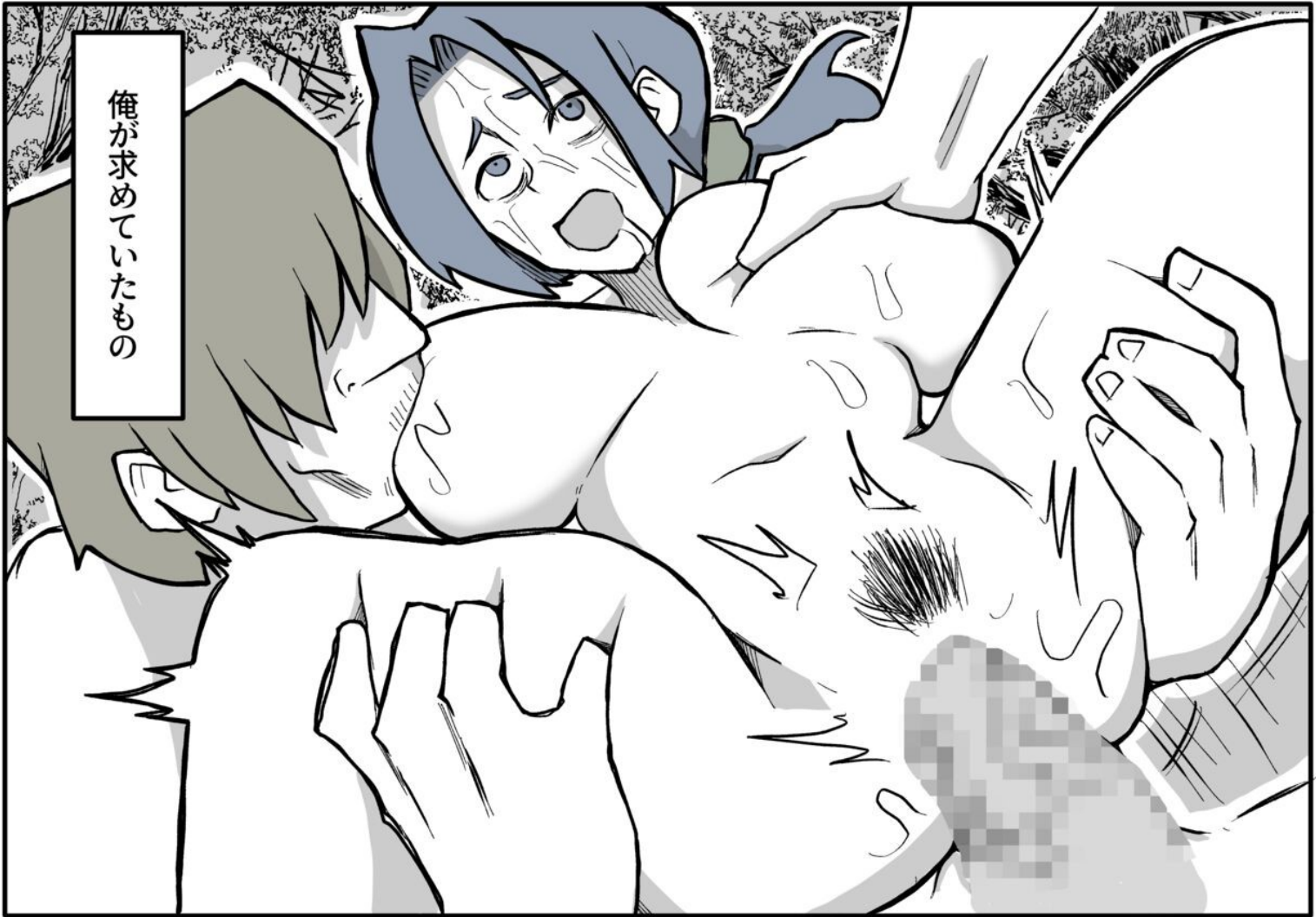
さっ急いで
早く

カチカチ

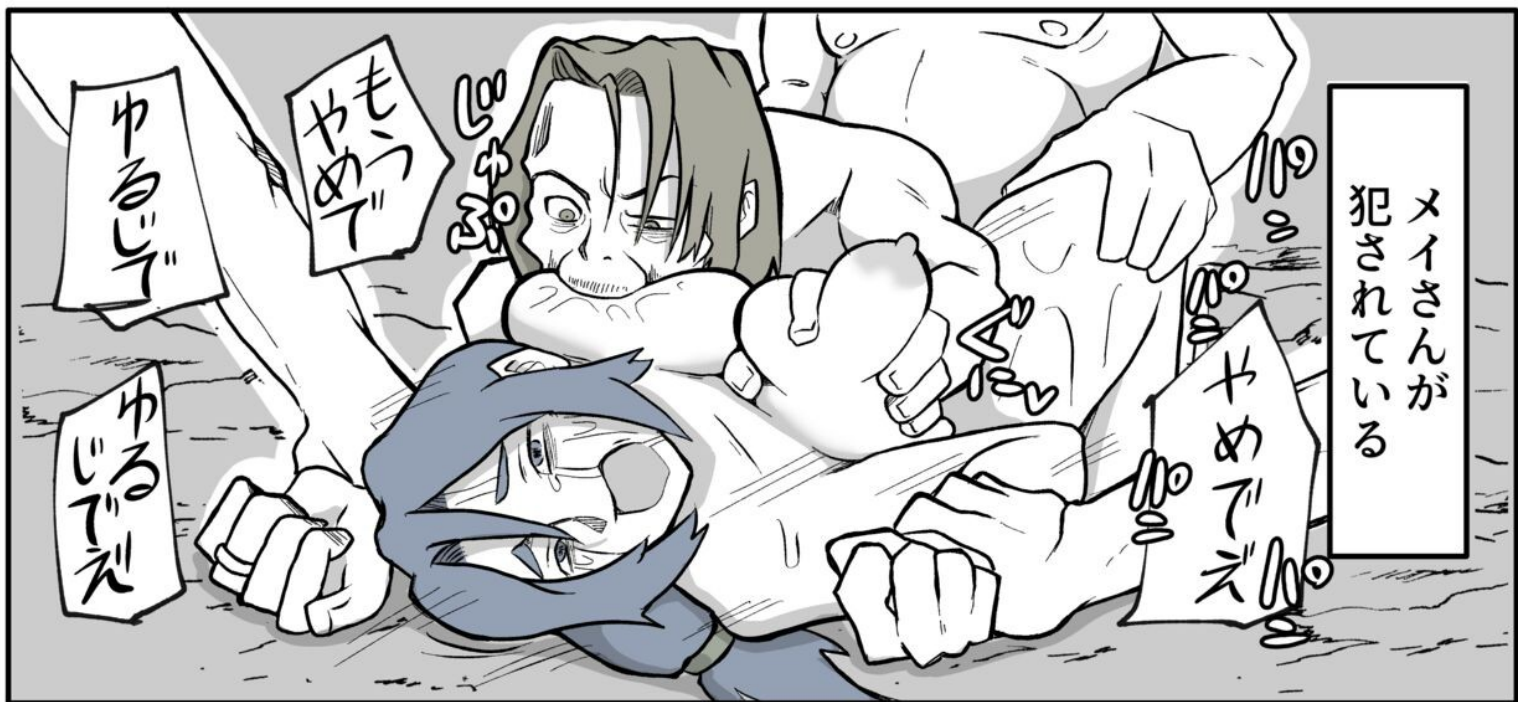
カチカチ



俺が見たかったもの



俺が求めていたもの



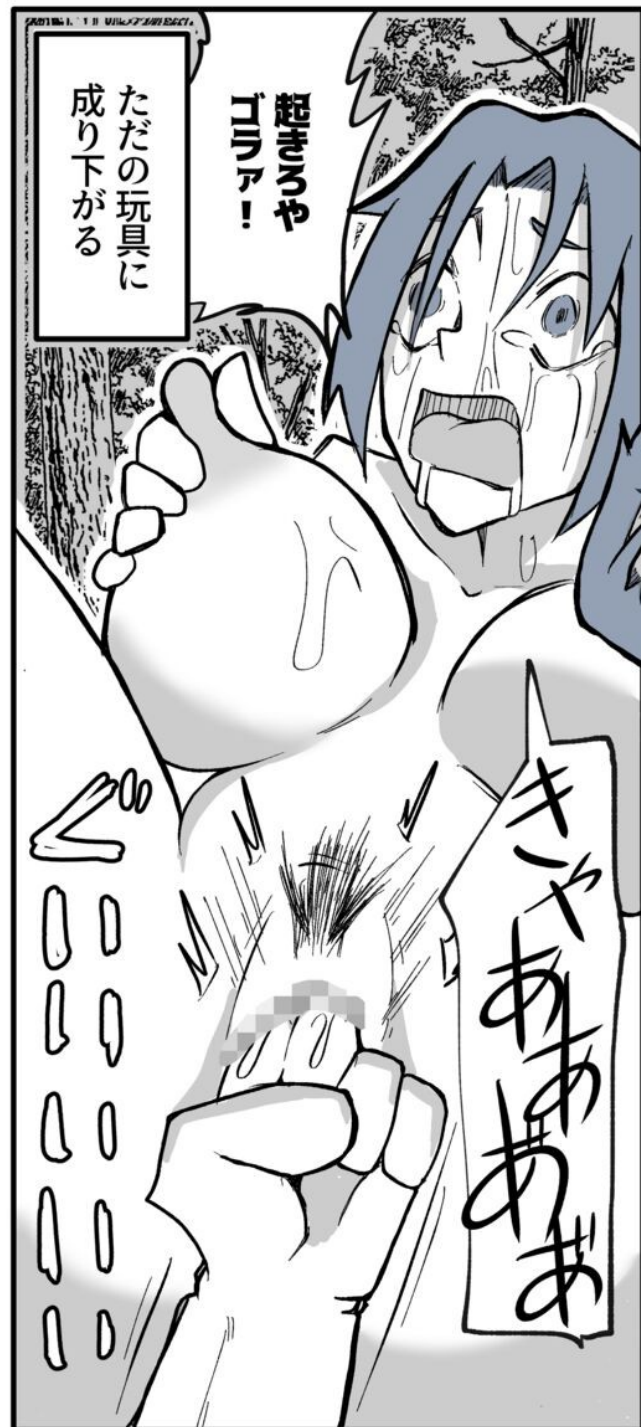
メイさんが
犯されている

ゆるいで

やめるで

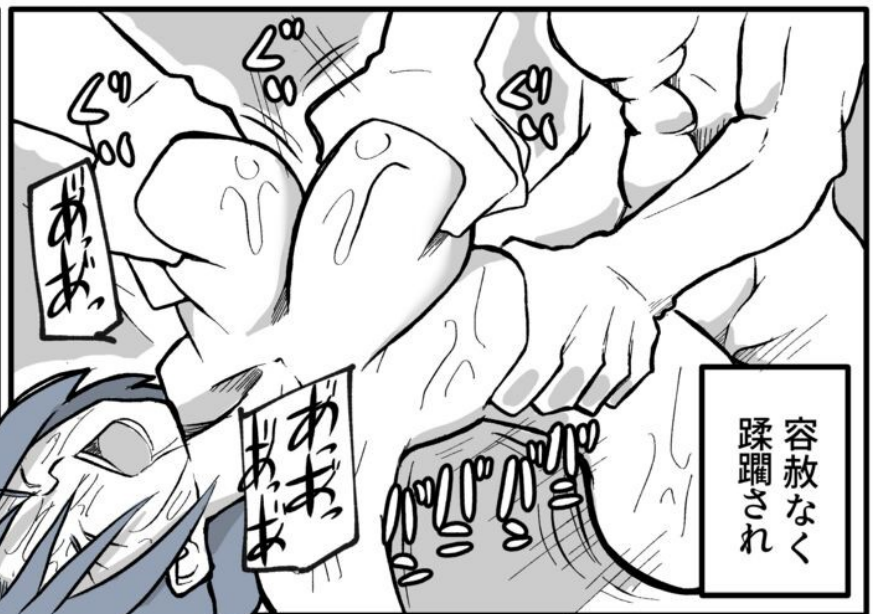
ゆるいで

やめるで



ただの玩具に
成り下がる

愚かなら！



容赦なく
蹂躞される

ああ

ああ



乱暴に身体を
まよぐられ

おいババア
寝てんじゃねえぞ

ぐちゃぐちゃ

ぐちゃぐちゃ

キヤああああ



俺とのセックスじゃ絶対に
見ることでできないメイさん

おねが...

許して

ちゅ

ちゅ

ちゅ

ちゅ

ああ

ああ



一番興奮する

たれかあ

たすけ

たすけて

しゅ

しゅ

しゅ

しゅ



その声が

ああ

たんたん

たすけて

その顔が

たん

たす



あの日
荷馬車を止めなければ



あの日
あんな目には
あわなかった

あの日の行為がレ●プだったら

あの日メイさんをレ●プ
できていたら



今
こんな目にはあわなかった





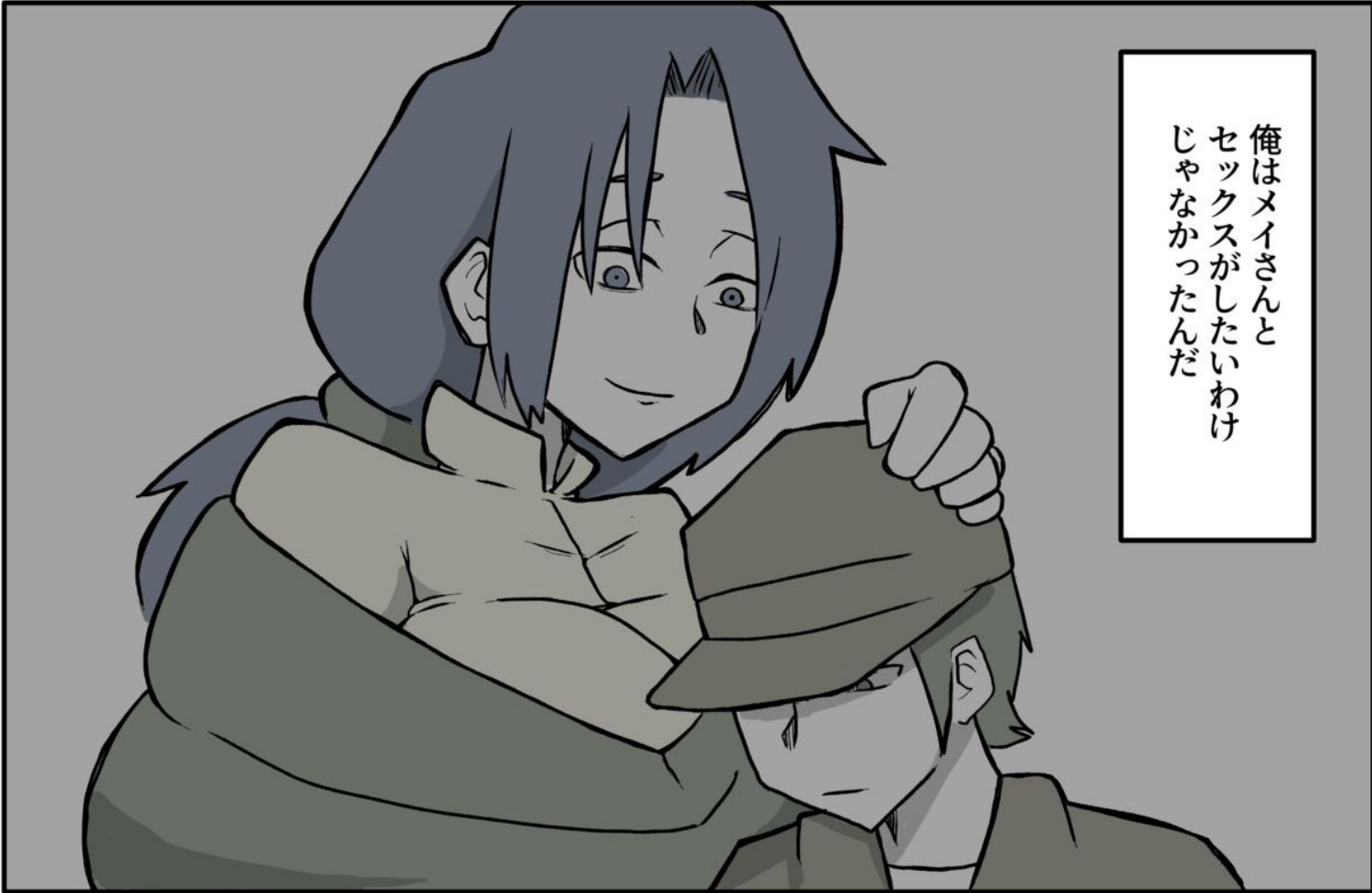
行商の情報を



俺が野盗団に流した



もう一度だけ
コレが見たくて



俺はメイさんと
セックスがしたいわけ
じゃなかったんだ



俺はメイさんを犯したいんだ



レ●プがしたい

コイツ微妙に腰逃してんじゃね？

次俺にやらせる



ただやりたいんじゃない

イマイチ反応悪いよなこいつ

そろそろ喘ぎ声の
ひとつでも
聞きてえよなあ



気持ちいいなら遠慮せず喘いでもいいんだぜ？

コイツらのように暴力的なレ●プを

どうだコレなら腰逃がせねえだろ

さあて奥さんの好きなのこいつはどいかなあ？

